

令和3年度第75回栃木県芸術祭美術展審査結果（日本画部門）

○応募総数	41点	[36点]	
○入賞点数	8点	[8点]	
○入選点数	33点	[26点]	* []内は昨年度

【審査寸評】

時代の流れだろうか。伝統的な日本画と言う概念と現代的な絵画の過渡期の時代の中で、今年度の日本画部門は実に見事に融合した作品が数多く出品され、見応えのある展覧会になると思う。受賞された作品は力強く、また色彩も美しく、それぞれの作者の温かみを感じられるものばかりで好印象であった。

○芸術祭賞「大銀杏の春」

色彩の美しい作品。幹の中に様々色調が使われており、柔らかな表現にもかかわらず豊かな画面となっている。鏝阿寺の大銀杏の力強さが伝わってくると同時に、作者の大木を見つめる暖かな気持ちが伝わってくる。

○準芸術祭賞「かざはな」

銀色の砂子が冬の寒さを際立たせている。雲の隙間から少し見える青空は作者のどんな気持ちが込められているのだろうか。無彩色の中に幹、枝がきめ細やかに表現され、画面を豊かにしている。

○準芸術祭賞「シャル ウィ ダンス？」

画力を感じる力作であり、画面から力強さが伝わってくる。背景のマチエールも人物のしなやかさを引き立てている。マチエールの中に含まれる暖かな色彩が人物の肌の色をより美しく魅せている。

【入賞者及び入賞作品】

○芸術祭賞

く め ひさ え (足利市) おおいちょう
久 米 久 枝 「大銀杏の春」

○準芸術祭賞

うす い ゆき え (宇都宮市) 「かざはな」
薄 井 幸 江
やま ぐち あきら (宇都宮市) 「シャル ウィ ダンス？」
山 口 昭

○芸術祭奨励賞

みず の すみ こ (那須塩原市) 「慈光」
水 野 澄 子
はん だ もり よし (宇都宮市) 「旧篠原家住宅」
半 田 守 可
いの せ ふじ えい (上三川町) 「母のバイク」
猪 瀬 藤 衛
あお き みさを (宇都宮市) 「凜と咲く」
青 木 操
たか だ ゆう こ (栃木市) 「仙人掌」
高 田 裕 子

○U25賞

該当なし

令和3年度第75回栃木県芸術祭美術展審査結果（書道部門）

- 応募総数 315点 [273点]
○入賞点数 13点 [14点]
○入選点数 226点 [212点] * []内は昨年度

【審査寸評】

深刻なコロナ禍の影響が大なる中、出品点数の減少が危ぶまれたが、昨年より42点の増となり、堅実に書の魅力を追求する姿勢がみられ、人生の活力となる文化芸術の重要性が再認識された。応募作品は全体として研究努力の成果が見受けられ、活力豊かな作品が多く、その中で入賞した作品は書作表現をうまく調和させ、「気力」「気合い」「風格」が感じられた。

○芸術祭賞「瞿佑詩二首」^{くゆうしにしゅ}（漢字）

歯切れ良い強靱な線により生み出された堂々たる造形美が見事である。大字と小字のバランスも見事であり、最高賞に相応しい風格ある作品である。この書風を追い求める練磨の成果が開花した。

○準芸術祭賞「紅葉」^{もみぢ}（仮名）

作品の中央部分に微妙な余白、空間作成と構成で趣深い。谷間が流動美的で品格がある。創造力が反映されている安定した作品である。

○準芸術祭賞「舞」^{まう}（少字数）

潤渇や速度の変化が魅力的。後半部の大きな変化と最終筆の位置取りで「舞」字に相応しい菱形のフォルムとし、完成度の高い作である。

【入賞者及び入賞作品】

○芸術祭賞

おお たけ き せん
大 竹 汎 泉 （佐野市） 「瞿佑詩二首」^{くゆうしにしゅ}

○準芸術祭賞

けん もく げつ か
見 目 月 華 （高根沢町） 「紅葉」^{もみぢ}

やま ざき しゅう げつ
山 崎 秋 月 （小山市） 「舞」^{まう}

○芸術祭奨励賞

おお はら りょう げつ
大 原 綾 月 （宇都宮市） 「初冬にて」^{しょとう}

いそ ち え み
磯 知 慧 美 （矢板市） 「近業二首」^{きんぎょうにしゅ}

うじ いえ しん こう
氏 家 真 鴻 （栃木市） 「潘高詩」^{はんこうし}

か ち こう せん
加 地 香 泉 （^{れいがくし}） 「厲鶚詩」

わ が ゆき え
和 賀 幸 恵 （鹿沼市） 「入山寄城中故人」^{やまにはいりてじょうちゅうのこじんによす}

よもぎ た さい か
蓬 田 彩 花 （宇都宮市） 「白薔薇」^{しろばら}

こ ぼやし よう こ
小 林 庸 子
なか はら あい
中 原 藍
まつ もと す み よ
松 本 純美代
わた なべ し ほう
渡 邊 司 寶

(栃木市)

(宇都宮市)

(小山市)

(鹿沼市)

さくそくてきり
「削足適履」

ししある
「獅歩く (自作)」

こうそうし
「江總詩」

さかむらしんみん し
「坂村真民の詩」

○U25賞
該当なし

令和3年度第75回栃木県芸術祭美術展審査結果（写真部門）

○応募総数	330点	[354点]	
○入賞点数	13点	[13点]	
○入選点数	165点	[167点]	* [] 内は昨年度

【審査寸評】

コロナ禍で厳しい状況にもかかわらず、様々に写真に取り組み応募いただいた皆様に深く感謝したい。330点もの応募作品は、撮影者の心を捉えた一瞬が鮮やかに写し出された力作が多く、中でも受賞された作品は、撮影、編集、プリント、それぞれの技量に優れ、作者のメッセージが巧みに表現されていた。

○芸術祭賞「ラピスラズリの朝」

漆黒の夜空から朝日が顔を出し、ラピスラズリの様な色へと変化してくる。時間の移りゆくなかでの変化が観る側に印象深く映る。どこか宇宙へと繋がる様な不思議な情景として感じさせられる作品である。

○準芸術祭賞「夢の中」

「夢の中」というタイトルの舞台のシーンのように、音楽や話し声が聞こえてくるような楽しさがある作品だ。それが観る人に伝わるのは、作者の工夫された撮影アイデアや高い技量によるものだ。

○準芸術祭賞「彩りの大地」

雨の中、水たまりの中に映る色とりどりのパラソルを捉えた着眼点は見事で、ワイド系レンズで捉えた手前から奥までのピントの良さと共に、技術的にも優れた作品だ。特に上部に入れた人物を長靴だけで表現したことも素晴らしい。

【入賞者及び入賞作品】

○芸術祭賞

木^き村^{むら} 暁^{とおる}（栃木市） 「ラピスラズリの朝」

○準芸術祭賞

中^{なか}野^の 一^{いち}郎^{ろう}（栃木市） 「夢の中」
鈴^{すず}木^き みどり（小山市） 「彩りの大地」

○芸術祭奨励賞

小^お川^{がわ} 恒^{つね}男^お（上三川町） 「天使達が降りる庭」
五十^い嵐^{がらし} 一^{かず}二^じ（日光市） 「棚田の秋」
尾^お花^{ばな} 由^ゆ紀^き子^こ（栃木市） 「余韻」
角^{かく}田^た 久^{ひさし}（宇都宮市） 「祭り始まるよ、帰えりたくないよ！」
佐^さ藤^{とう} 治^{はる}男^お（真岡市） 「希望の光」

もち	た	しん	いち	(小山市)	「神事」
持	田	慎	一		
こ	ぼやし	かず	お	(真岡市)	「至福のとき」
小	林	一	央		
よし	かわ	たつ	と	(宇都宮市)	「夏の少女」
吉	川	竜	人		
こ	さか	くに	えい	(宇都宮市)	「品定め」
小	坂	國	榮		
さい	とう	まさる	勝	(日光市)	「異空間」
齋	藤				

○U25賞
該当なし